

元原発技術者が語る、福島原発の真実

菊池洋一講演会



プロフィール

1941生まれ。反原発活動家。

1973年から1980年6月に、米国の(株)GEの企画工程スペシャリストとして、福島第一原発、東海第二原発のプラント建設にかかわる。

1991年から反原発の活動を決意、各地で講演会をおこなっている。

日時／ 2013年 **10月26日** (土) 14時～

場所／ **生涯学習総合センター3F大ホール**

北九州市小倉北区大門一丁目 6-43 TEL 093-571-2735

資料代 1000円

予約は、コクチーズ「元原発技術者が語る、福島原発の真実 菊池洋一講演会」

福島第一原発の事故から2年と6月が経過しています。

福島原発の事故は、収束どころか危険な状態が続いています。

メルトダウンしたウラン燃料は、どうなっているのか全くわかりません。作業員が、原子炉に近づくことさえできていません。

原子炉建屋には地下水が流れ込み、高濃度の汚染水となって海に流れ込んでいることがわかりました。

国と東電は、福島原発の事故を一刻も早く全力で収束させるべきです。

原発の事故は、とんでもない様子です。

九州電力の玄海原発も、古く危ない原発と言われています。

菊池洋一さんがつくった福島原発のお話を聞いて、考えましょう。

多くの方の参加をお願いします。

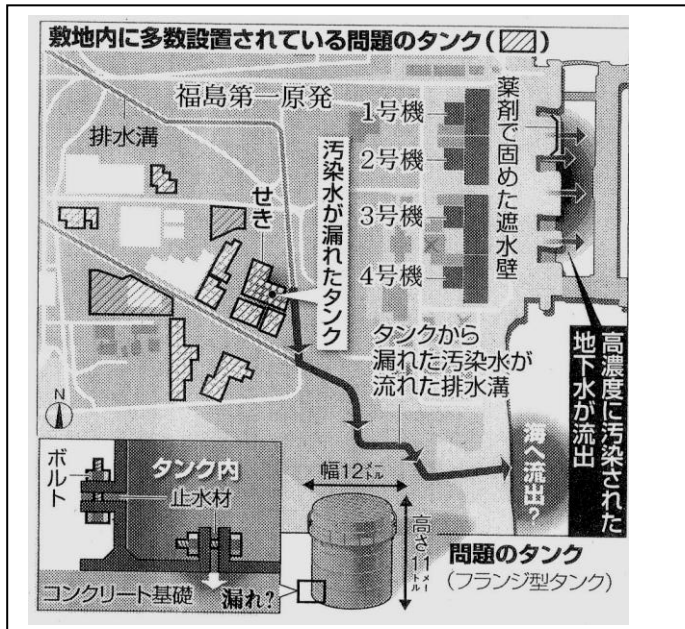


主催／ **菊池洋一講演会実行委員会**

080-5802-6688

ktqmizukami@yahoo.co.jp

みずかみ



福島原発の事故は、危険な状態が続いています。

同時に一号機から四号機まで同時に爆発したのは、世界で初めての事です。

メルトダウンした燃料は、どのようになっているのかわかっていません。

取り出す方法もわかっていません。

原子炉を冷却した水を、貯めているタンクからも、高濃度の汚染水が漏れています。

福島の人たちに降り注いだ放射能を、住宅地や田畑への除染作業が続いていますが、元の状態に戻すのも無理です。

福島の子供たちにも、健康診断の結果、甲状腺に異常がでてきています。

原発の地下に、大量の水が流れ込んで、大量の放射能を含んで、海に流れ込み、汚染水は、太平洋の海流に紛れ込み、カナダ、アメリカなど世界が注目し始めています。

福島では、漁民は魚をとれず、操業自粛です。

農民は、野菜も米も作れません。作っても売れません。

福島原発の重大事故は、15万人の人たちが避難して、福島の多くの人を苦しめています。

国と東電は、一刻も早く、全力で事故を収束させ、すべての責任をとるべきです。

オリンピックなどと浮かれている時ではありません。

福島原発の建設にかかわった菊地洋一さんは、「原発の危険」を仕事の中から、指摘してきましたが、アメリカのGEという会社は、菊地さんの声を無視し続けました。

菊池洋一さんは、原発をやめるべきだと訴えています。

10月26日(土)14時から小倉北区生涯学習センターで、菊池洋一さんがお話します。

菊池さんのお話を聞いて、考えましょう。